

学校教育の諸課題について

H28. 7. 13

【教員の多忙化解消について】

○ 多忙化の現状

- ・ 昨年11月の調査において、「正規に割り振られた勤務時間以外に
 在校していた時間が100時間を超えた教員」は
 小学校教員 0人 中学校教員 14人
- ・ 「80時間超、100時間未満の教員」は
 小学校教員 4人 中学校教員 17人
- ・ 教員組合が実施した意識調査で、日々多忙であると「強く感じて
 いる」教員は
 小学校教員 59%（「まあまあ感じる」まで含むと 96%）
 中学校教員 65%（同 99%）

○ 原因として考えられること

- ・ やらなければならない業務が多い。（授業の準備・事後処理、学級
 事務、分掌に関わる業務等）
 → やる時間の確保が難しい。
- ・ 部活動の指導時間が長い。（特に中学校）
- ・ 打合せや会議等が多い。

○ 対策として

- ・ 校務支援システムの導入
 事務業務の負担軽減・効率化
- ・ 市費による各種人員の補充
 「学びのみかた非常勤講師」「学習支援員」「スクールサポーター」
 「学校司書」
 「教育サポートセンター（相談員・カウンセラー等）」
- ・ 多忙化解消検討委員会（仮称）による具体策の検討